

# 東海南中学校部活動に係る活動方針

令和5年4月

## 1 基本的な考えについて

- 部活動は、学校教育の一環として実施する教育活動である。生徒にとって豊かな学校生活を経験する有意義な活動であるとともに、体力の向上や健康の増進、芸術文化に親しむ基盤形成を図るうえで、きわめて効果的な活動であることから、学校の教育目標や経営方針に基づき、計画的に実施する。
- 全職員の共通理解の下、生徒のバランスのとれた生活と成長に配慮するとともに、部活動顧問の指導に係る業務の適正化が図られるよう、学校としての組織力を高めながら、学校全体の教育活動として適切な部活動の運営を図っていく。
- 体調管理や安全管理を含め、生徒の自主的・主体的な部活動の運営に努める。

## 2 活動時間について

平日（長期休業日を含む）の練習時間は上限2時間、休業日（長期休業日を含む）の練習時間は上限3時間（活動場所までの移動や準備・片付け、昼食等の時間は含まない）とする。一週間の活動時間は祝日や振替休業日などを含む週は上限11時間、含まない週は上限9時間とする。

4月～9月	15:40～17:30	完全下校（活動時間95分）
10月	15:40～17:00	完全下校（活動時間65分）
11月～1月	15:40～16:40	完全下校（活動時間50分）
2月～3月	15:40～17:00	完全下校（活動時間65分）

高温・多湿時、荒天時等は、生徒の健康安全を第一とし、校長、教頭、養護教諭、保健主事、関係者等と協議した上で実施する。

## 3 休養日の設定について

### 【学期中の活動】

- (1) 週に3日以上休養日を設ける。
- (2) 土・日のいずれかを休養日とする。原則として月曜日・木曜日には部活動を実施しない。
- (3) 大会等への参加により休日（土・日）に連続して活動した場合は、他の休日に休養日を振替える。ただし、公式大会等において、上位大会が直後の1か月以内に控えている場合に限り、生徒が希望する場合、生徒の心身の疲労回復の状況を確認した上で、校長の判断により、平日に休養日を振替えることも可とする。また、休息日である月曜日と木曜日が祝日に当たり、活動をした場合は、平日に1日休息日を設ける。
- (4) 本県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」としていることから、本村でも「家庭の日」として、原則として部活動を実施しない。（大会等は、この限りではない。）
- (5) 学校閉庁日は部活動を実施しない。また、平日の年度末日と年度初日も実施しない。
- (6) 定期試験（期末テスト）の前の3日間と定期テスト当日を休養日とする。

### 【長期休業中の活動】

- (1) 夏季休業中の活動は20日までとする。ただし、同一大会は1回として数える。
- (2) 週に3日以上休養日を設ける。（土日のどちらかを含む）
- (3) 夏季休業日及び冬季休業日は連続1週間以上の休養期間を設ける。

## 4 朝の活動について

- 朝の活動は原則行わない。ただし、駅伝大会等の選抜生徒で構成された大会へ参加するための活動については、放課後の活動と合わせ1日当たりの上限の範囲内で活動する。

## 5 学校単位で参加する大会について

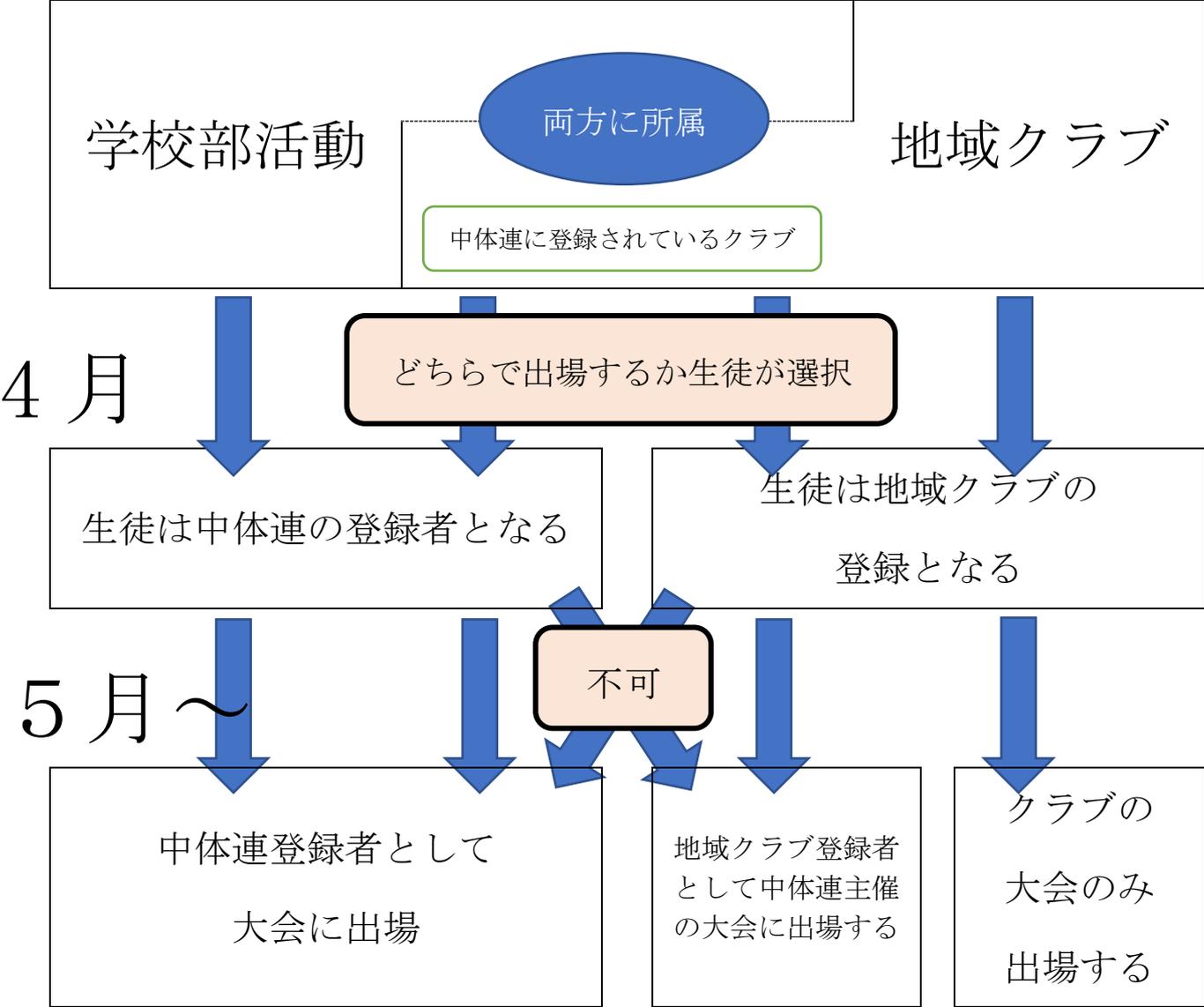
- 県中学校体育連盟及び村教育委員会が定める大会数の上限の目安等を踏まえ、参加する大会等を精査する。（年間に12大会以内）

4月末までに、新1年生及び新2、3年生で地区のクラブに入っている生徒は、自分が入っているクラブが登録クラブか未登録クラブかを確認する。登録クラブの場合は、自分自身が登録メンバーになるか、ならないかを選択する。

\*クラブ所属か部活動所属かを決めなければならない。同じ競技の場合、二重登録はできない。

\*登録クラブかどうかは、4月の中体連審査ではっきりする。

\*登録クラブの代表者は、必要書類を4月30日までに学校に持参する。



- 登録クラブに所属している生徒（例：○○テニスクラブ）は、平日は学校の部活動（例：テニス部）に参加しても構わないが、総体はクラブとして参加する。
- 未登録クラブに所属している生徒（例：△△卓球クラブ）は、平日は学校の部活動（例：卓球部）に参加しても構わない。また総体は部活動として参加できる。
- 登録クラブに所属している場合、学校の部活動とは異なる競技の場合、二重登録にならないため、どちらの総体等にも出場できる。ただし、陸上や水泳、相撲以外（R5年度総体の場合）は、大会開催期間が重なるので、現実的には難しい。
- 中体連大会（総体、新人戦）に登録クラブが出場できる大会（郡市大会・中央大会・県大会）は、部活動毎に違っている。
- 総体終了後、新人戦の地区大会までに所属団体（登録クラブ、未登録クラブ、部活）が変更になった場合は上記の限りではない。